

独自機能について

通常のプリンタでのポスター・垂れ幕・横断幕作成

(プリンタの機能に依存しないポスター印刷)

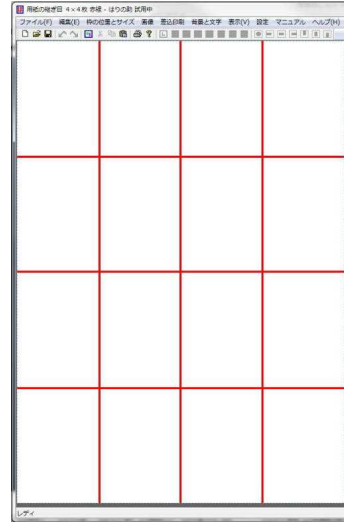
◆複数枚の用紙をつないだ状態でレイアウト

複数枚の用紙を並べた状態でレイアウト（実際は細い点線で表示）

継ぎ目部分がわかるので、用紙端の印刷できない部分を避けてレイアウト可能



縦に3枚連結

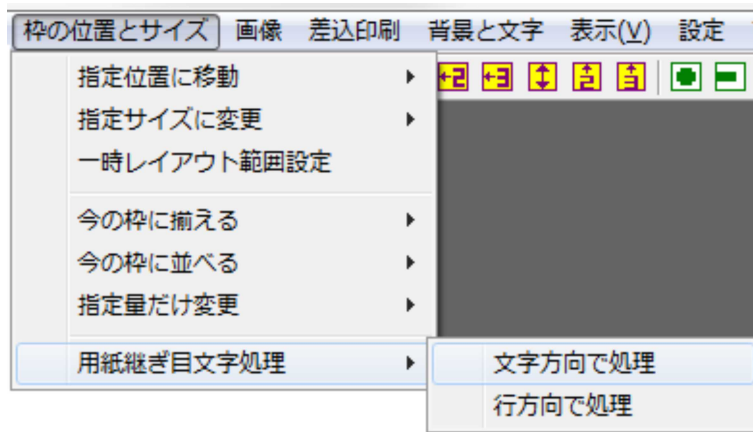


4枚×4枚の16枚を連結

独自機能

◆用紙継ぎ目文字処理（通常の印刷の場合）

用紙の継ぎ目に文字がかからないように自動で調整



用紙のつなぎ目に文字や画像があっても、きちんと印刷できる機能を次に紹介

◆フチなし印刷で高精度な用紙継ぎ目処理

カット不要、印刷して突きあわせるだけで完成

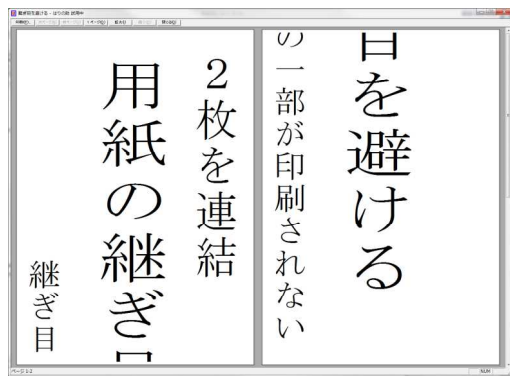
下図は分割してA4用紙4枚に分割印刷して貼り合わせたもの(赤い十字が4枚の中心)



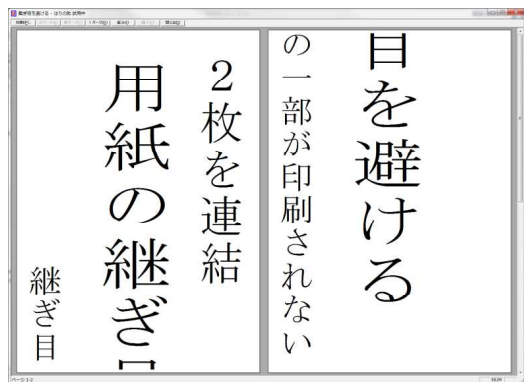
中の図は左上ページと左下ページの、右は左上ページと右上ページの継ぎ目部分
どちらも小さな赤い文字の延長線上(縦方向)が用紙の継ぎ目

◆継ぎ目部分の重複印刷

重複量の指定可能(用紙端の印刷できない部分のカットが必要)



重複を指定しない場合



印刷できない長さだけ重複を指定した場合

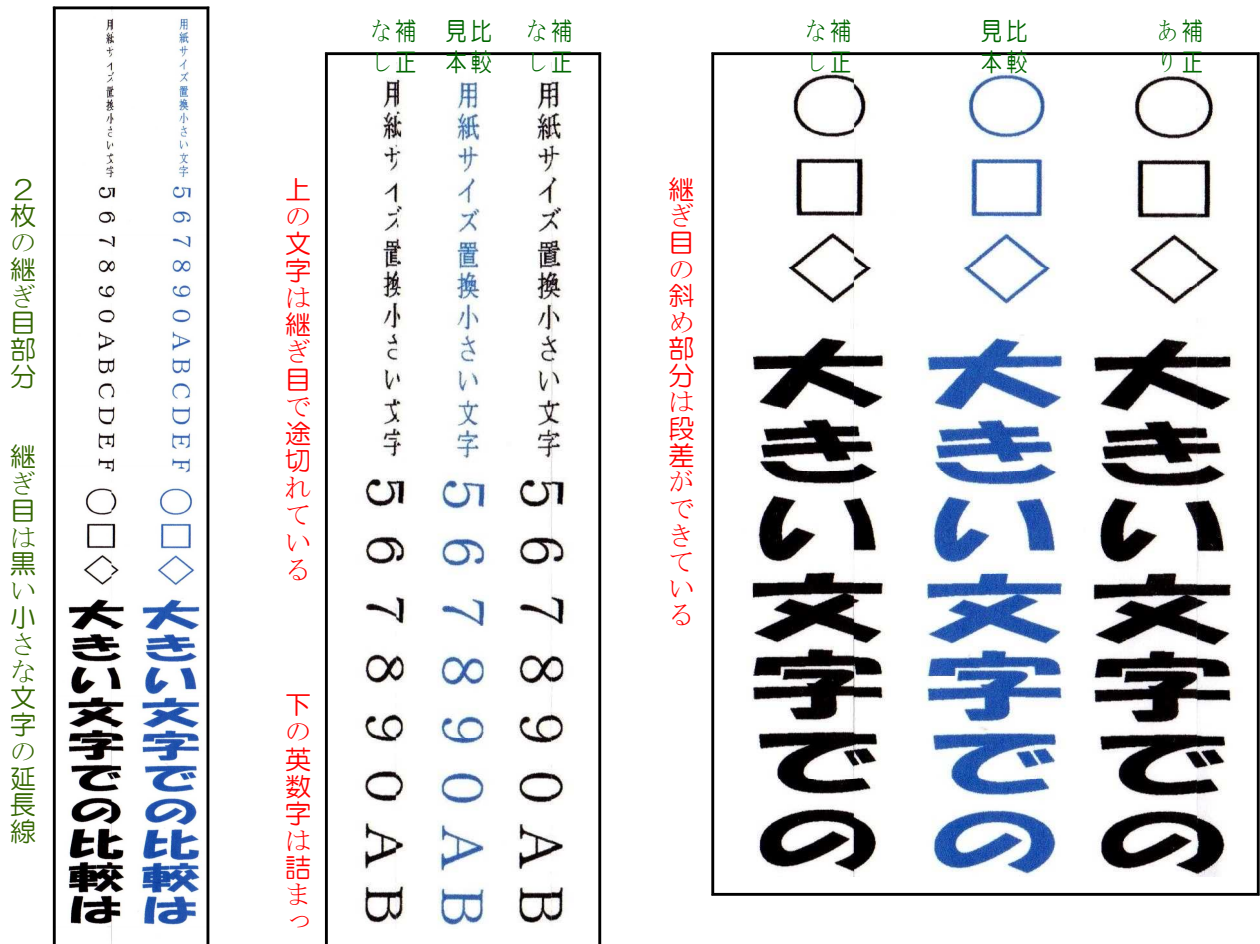
フチなしでのポスター印刷の精度を更に高める独自の新技术

◆用紙サイズの誤差による問題点

メーカー（型番）によって多少サイズが異なる場合がある。フチなし印刷で用紙継ぎ目処理を行う場合にわずかの違いも仕上がりに影響する。

その影響を、A4用紙縦置きを横に2枚並べて印刷したものをスキャンして表示する。左端の枠内が継ぎ目部分。右2つの枠はその一部をトリミングして実物大で表示。

それぞれ、「補正なし」（実寸409.5ミリ）、「結合制度比較用見本」、「補正有り」の順。



独自機能

◆細かなサイズの違いへの対応

「はりの助」では微妙な用紙サイズの違いにも対応。

上図の「補正なし」はサイズを意識せずに印刷しているので文字が切れたりしている。

「補正あり」は新技术で測定した実際の値に設定しているため、ほぼ完璧に合っている。

独自機能

◆定規を必要としない用紙サイズの測定

次期バージョン（2016年1月に公開予定）では、定規を使わずに1/10ミリより更に細かい精度で用紙サイズが測定できる新技术を搭載するとともに、用紙サイズとプリンタごとに1度だけ必要となる設定が簡単に行える、新たなウィザードを採用する。

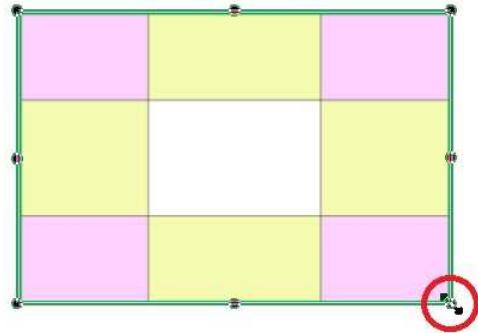
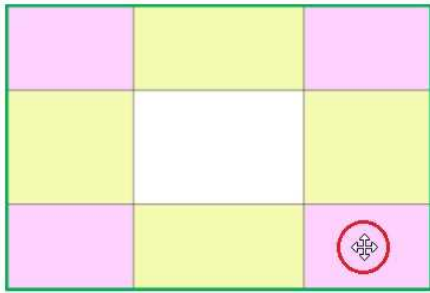
マウス操作をサポートする、サイズ変更・回転操作手法の提案

独自機能

◆両ボタンをクリックすることでサイズ変更のハンドルにカーソルが自動で移動

枠（文字枠、矢印、画像）のサイズ変更

ハンドル（4角か各辺の midpoint）にカーソルを合わせてのサイズ変更は一般のソフトと同じだが、対象の枠をイメージ状で9分割し、カーソルを合わせたいハンドルが含まれるブロック（図では右下のピンク）内で両方のボタンを押すとその枠が選択され、自動でカーソルがハンドル（図では右下角）に合っ、サイズ変更モードとなる。

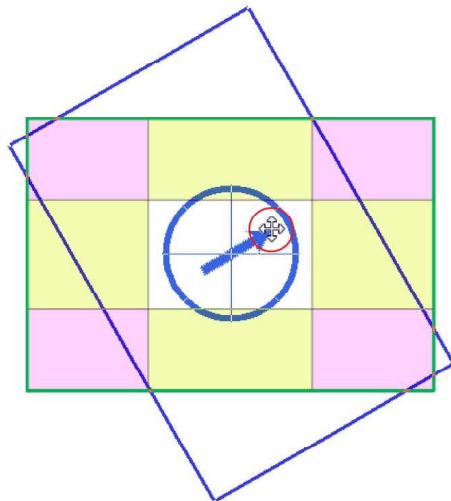
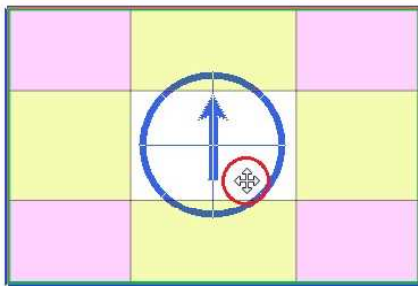


独自機能

◆中央でクリックする角度指定用の円を表示

一般のソフトでは回転用のハンドルにカーソルを合わせて回転させるが、中央（図では白）のブロックで両方のボタンを押すと、回転モードになる。

表示された円内をクリックすると回転用矢印の先端がカーソル位置に移動するので、そこでボタンを放すか、ドラッグして回転させる。

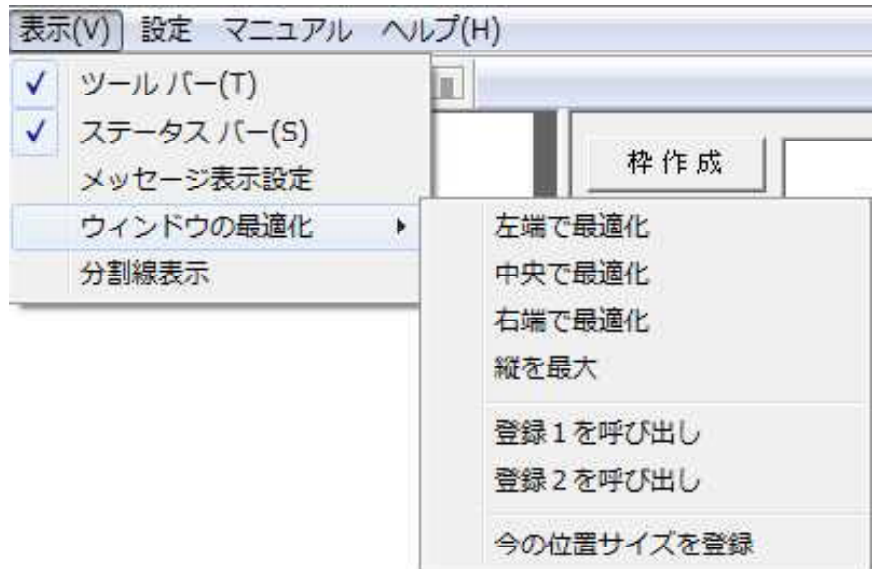


独自機能

◆ウィンドウ表示の提案

「ウィンドウを移動したら勝手に最大化された」、こんなお節介りに対応する機能。

「はりの助」のウィンドウサイズを編集中の用紙サイズに最適な大きさ、縦を最大、または指定のサイズ(2種類登録可)に簡単に調整可



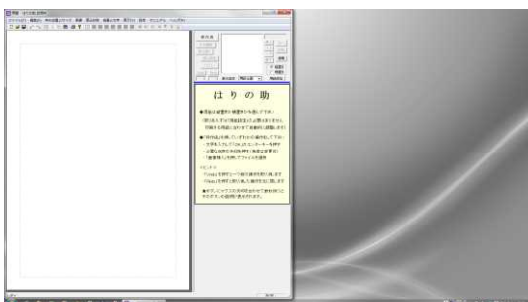
この状態から



縦を最大



左端で最適化



中央で最適化



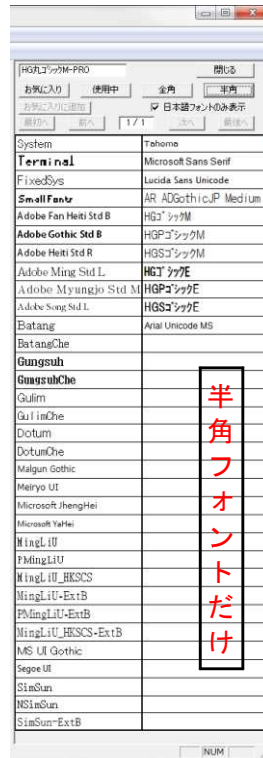
独自機能

◆フォント選択の提案

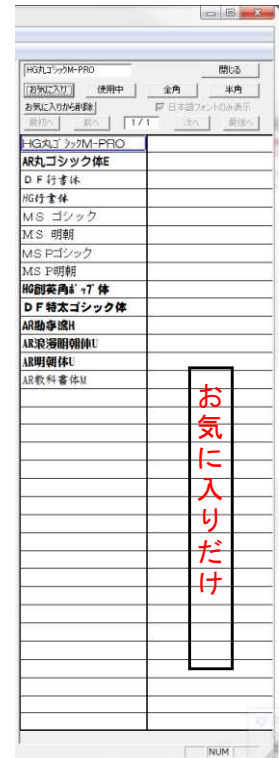
フォントを一覧表示して選択可能



全角のみ表示



半角のみ表示



お気に入りのみ表示

よく使うフォントをお気に入りとして登録可。

文書で使用中のフォントだけ、直前に試したフォントだけの一覧表示も可。

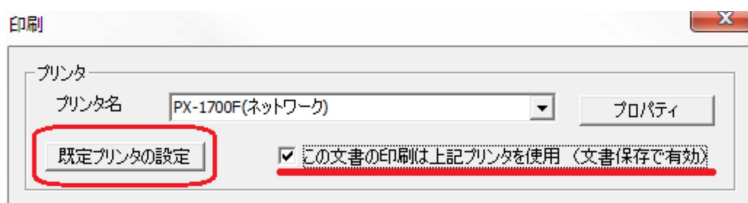


独自機能

◆手間を省き印刷ミスを防ぐプリンタの自動切り替え

Windows の設定とは別に、はりの助使用時に限った通常使用プリンタを設定可能
(赤い枠線で囲んだボタンをクリックすると設定画面が表示される)

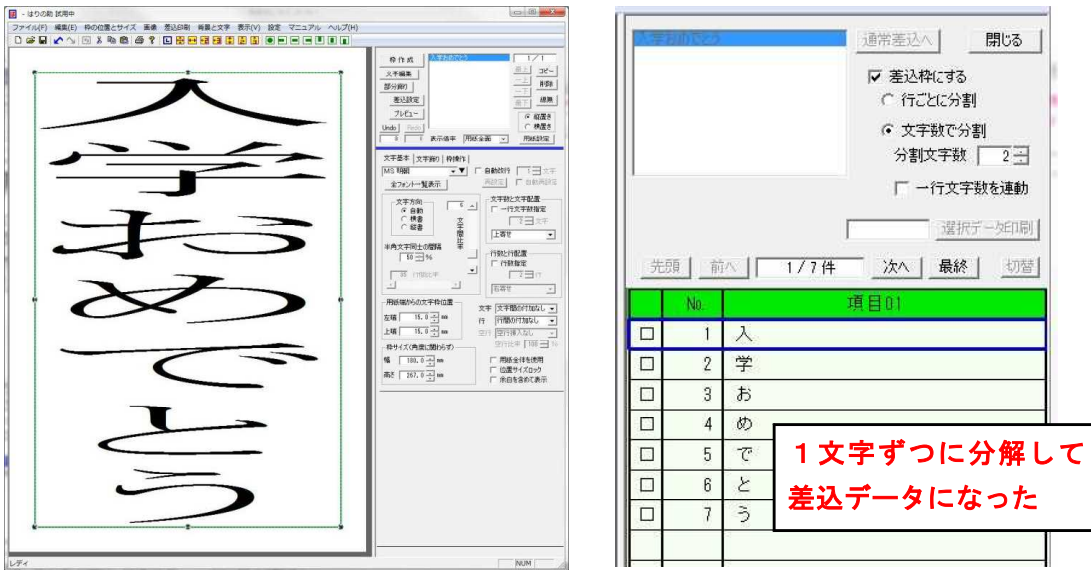
上記とは別に、文書ファイルごとに使用プリンタを設定し、印刷時に自動で切り替え
(赤い下線部分にチェックを入れて文書を保存するだけで設定される)



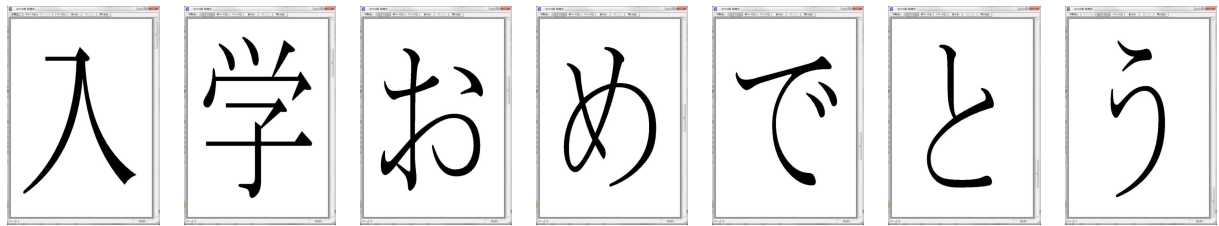
独自機能

◆簡易差し込み機能

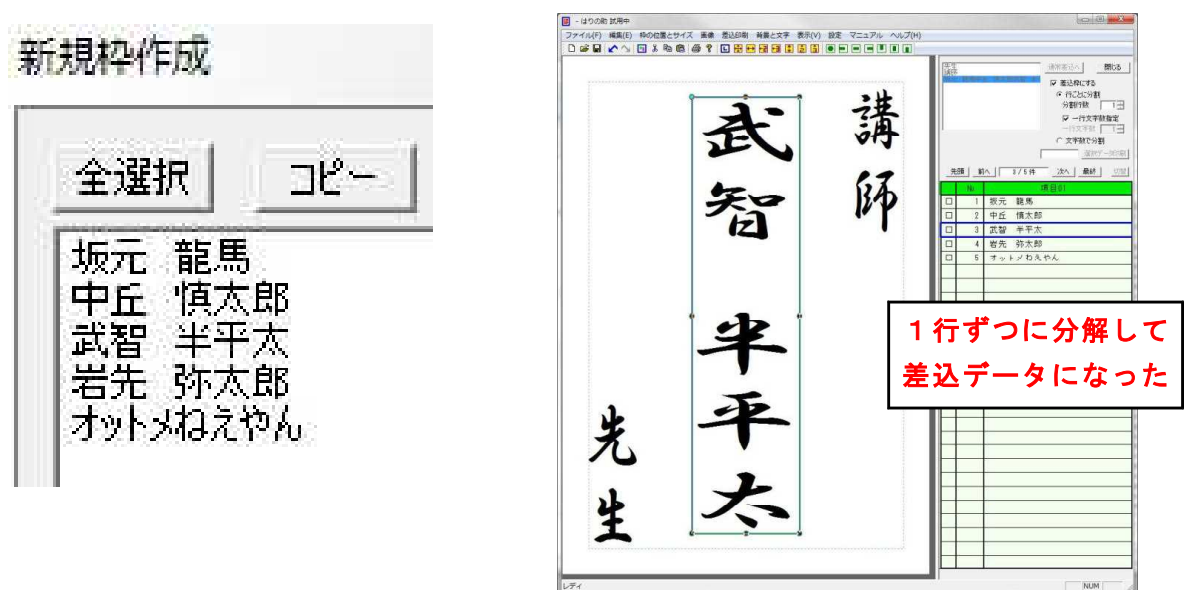
入力された文字を、文字単位か行単位に分割して差込データとするので、差込ファイルは不要



1枚に1文字ずつ印刷される(次図は印刷プレビューの1ページ目から7ページ目まで) 最大化ボタンで中央に最大表示、他の文字や画像で装飾も自由に設定可



表計算やワープロのデータをコピーして貼り付けるだけで差込印刷設定が完了 名前だけが差し替えられて5枚印刷される (行単位で分割して、名前だけを変えての差込印刷)

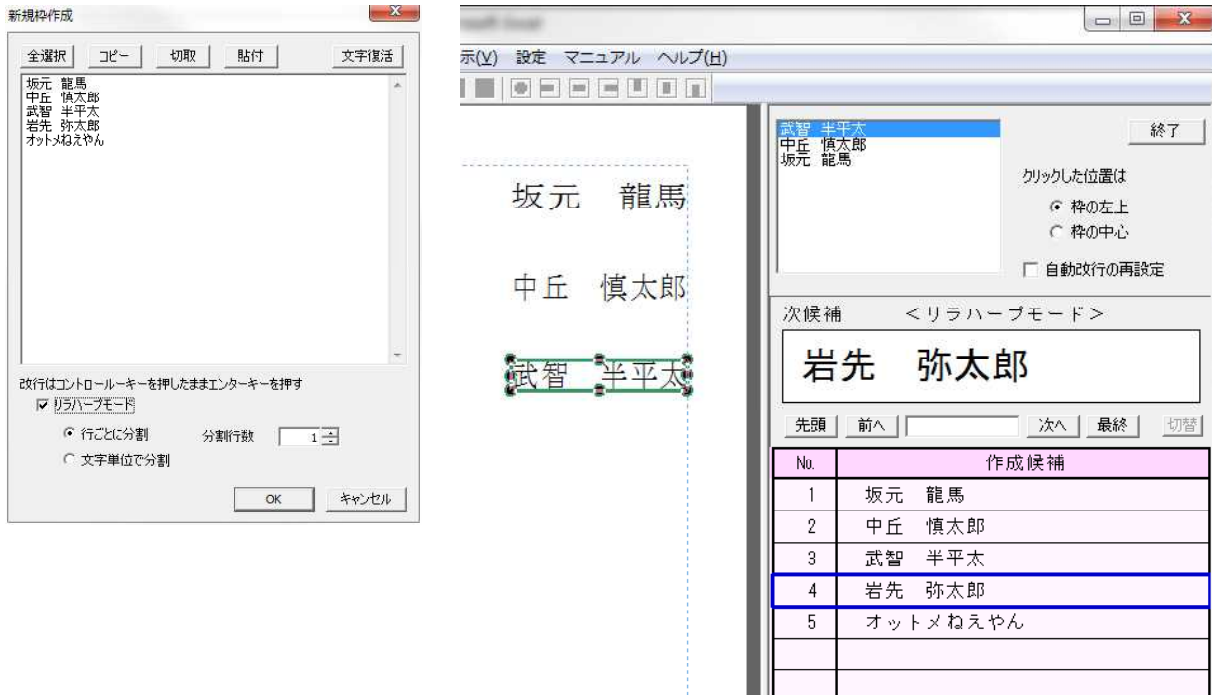


独自機能

◆入力作業を効率的にするリラハープモード入力

入力した文字を文字単位または行単位に分割してリスト表示し、クリックするだけ（ドラッグでサイズの指定も可）で枠を作成し入力作業を軽減

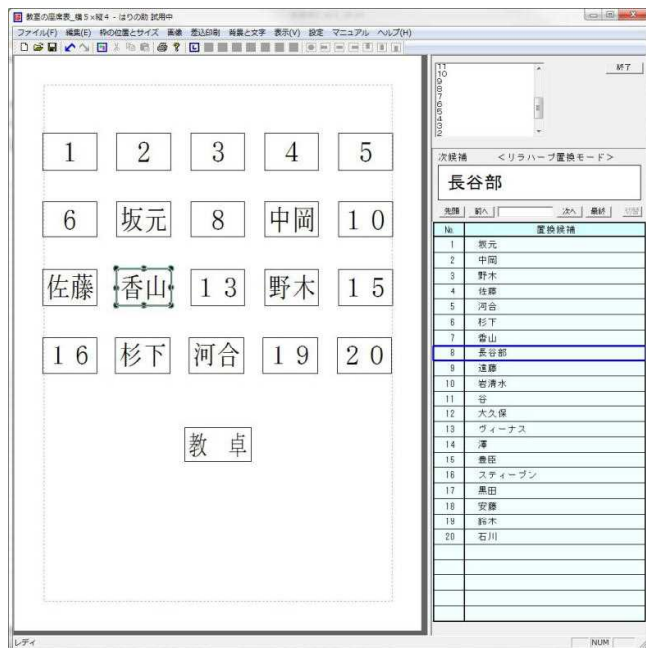
集合写真や配置図等への入力や位置合わせ印刷での入力時などに効果的



独自機能

◆文字変更の繰り返しにはリラハープ置換

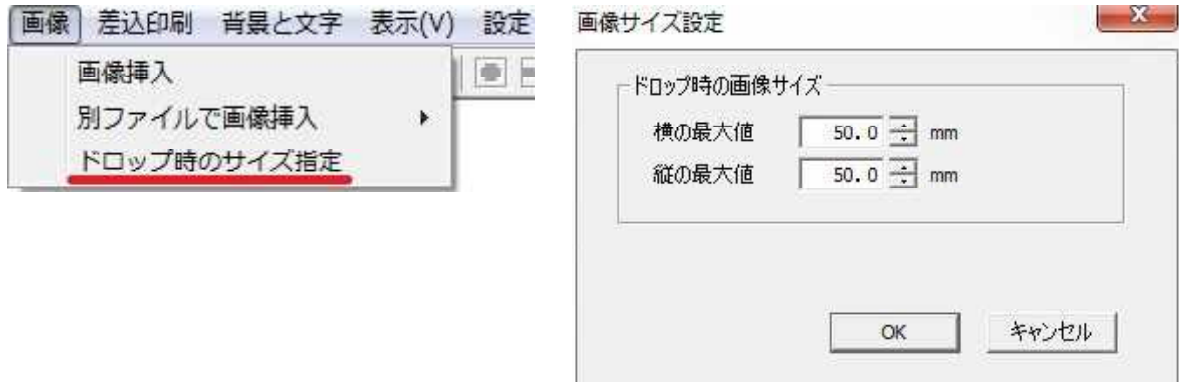
座席表変更などは、リラハープ入力と同様にクリックだけで文字を入れ替え



独自機能

◆画像ファイルドロップ時のサイズ指定機能

縦横比を保ったまま指定サイズ内で最大表示するので、複数の写真を大きさを揃えて配置する場合や、用紙一杯に拡大したいときなどに、サイズ調整の手間が省ける



独自機能

◆独自の文字飾り機能

下線や背景色等の文字飾りを、文字間は除外して文字の部分だけに付ける文字単位や文字の有無にかかわらず行全体に付ける行単位でも指定可能

通常の
文字飾り

文字単位の
場合

行単位の
場合

下線や文字飾りと文字との間隔を指定可能

通常の間隔

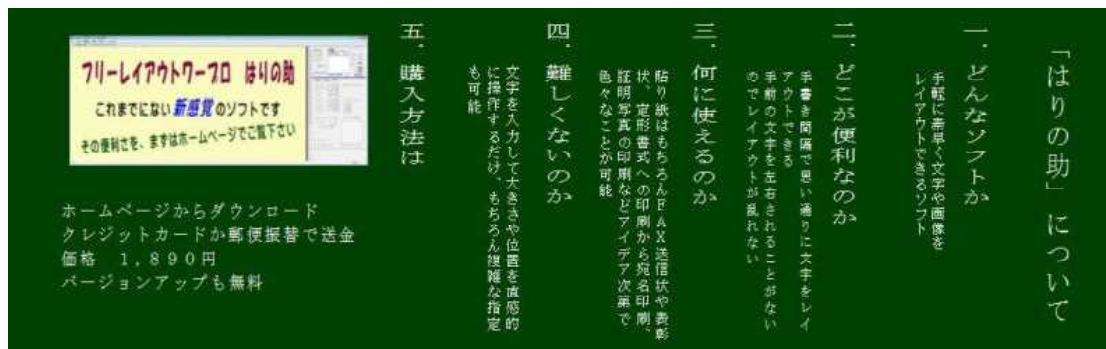
間隔を広く

さらに広く上下に

独自機能

◆黑板モード

使用する黑板の縦横比で、実際の板書と同じように表示して計画を作成
印刷時は背景と文字を反転して、インク節約も可



その他にも

- ・ 文字間を均等に揃えるための文字間付加機能
- ・ 同じく行間付加機能
- ・ 一行文字数指定機能
- ・ 折り返し位置の再設定機能
- ・ レイアウトを手助けする一時的なレイアウト範囲
- ・ 差込印刷での改行指定機能
- ・ 画像差込印刷時のトリミング機能
- ・ 簡易プレゼン機能

等の機能で使いやすさを追求している